

山梨県・四川省
紹介パネル展
同時開催

参加
無料
※事前予約

三星堆博物館からの景色

山梨県

Yamanashi Pref.

美術史・考古学

山梨県立美術館長
元文化庁長官

青柳 正規

美術史学

山梨県立博物館長
筑波大学名誉教授

守屋 正彦

考古学

山梨県立考古博物館長
早稲田大学名誉教授

高橋 龍三郎

歴史学

信州大学
人文学部助教

新津 健一郎

四川省

Sichuan Province

考古学

四川大学
考古文博学院教授

リー イエンフー
李 映福

考古学

三星堆博物館長

ジュウ ヤーロン
朱 亜蓉

登壇者

異形の文明が語るもの

三星堆文化と縄文文化

現代に伝える文化遺産と文化施設の役割と魅力

定員
400名

会場 甲府記念日ホテル

〒400-0073 山梨県甲府市湯村 3-2-30

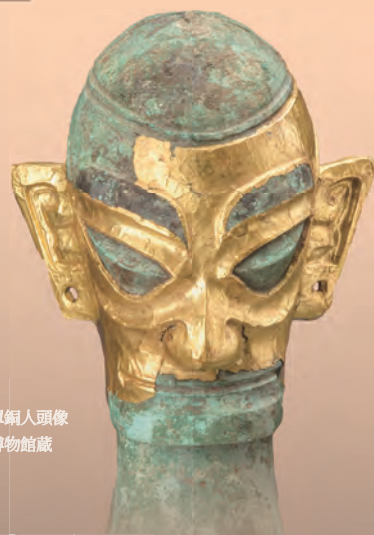
参加申込

11.10(月)
受付開始

山梨県の予約フォームにて申し込みを受け付けます(定員になり次第終了)。参加希望の方は右記 QR コードまたは下記 URL よりアクセスしてください。
<https://www.pref.yamanashi.jp/bunka/index.html>

主催：山梨県 協力：峡中地区都江堰市友好協議会 特別協力：南アルプス市教育委員会

問い合わせ 山梨県観光文化・スポーツ部文化振興・文化財課 ☎ 055-223-1790 (平日 9:00-17:15)



戴金面罩銅人頭像
三星堆博物館蔵

人面接吻付土器 海道前 C 遺跡 山梨県立考古博物館蔵



▲予約フォーム

文化がつなぐ友好の絆
—— 山梨×四川フォーラム開催 ——

四川省は、三星堆遺跡に代表される独自の文化資源を活用し、学術・観光の分野で大きな成果を上げています。

一方、山梨県も縄文文化をはじめとする歴史的資産の保存と活用に取り組んでいます。本フォーラムでは、両地域の文化的特性を活かした交流の意義を再確認し、国境を越えた博物館・美術館の魅力や役割について専門家とともに考えます。

タイムテーブル Timetable

13:00 開催・主催者あいさつ

13:05 講演

李 映福「古代四川の主要な文化的成り立ち」 60min

朱 亜蓉「三星堆遺跡の発見・発掘と博物館建設」 60min

休憩 15 min

15:20 ディスカッション

「四川省の三星堆遺跡と山梨県の縄文文化」

「博物館資料の保存・活用と博物館の魅力を高めるための戦略的施策」

■コーディネーター 新津 健一郎

■パネラー 李 映福、朱 亜蓉、青柳 正規、守屋 正彦、高橋 龍三郎

質疑応答

16:30 閉幕

※内容は変更になる場合があります。

会場 甲府記念日ホテル

〒400-0073 山梨県甲府市湯村 3-2-30

1 階 昇仙閣



自動車

中央自動車道
甲府昭和 IC より約 15 分
双葉スマート IC より約 10 分



路線バス

JR 甲府駅南口 4 番乗り場より
山梨交通バス
「湯村温泉入口」下車



タクシー

JR 甲府駅から約 10 分



青銅縦目仮面
三星堆博物館蔵

講師プロフィール Lecturer Profile

四川大学考古文博学院教授

リー イエンフー
李 映福



四川大学教授。専門は中国南部の考古学、冶金考古学。古代中国の社会構造や経済活動の変遷を主なテーマとしている。1998 年には山梨県に研修交流し、99 年から四川大学准教授、2010 年から教授。四川省や三峡地域の文化遺産保護にも取り組んでいる。

三星堆博物館長

ジュー ヤーロン
朱 亜蓉



三星堆博物館館長。三星堆博物館のリニューアルを担当（2023 年開館）。出土遺物の公開に積極的に取り組み、デジタル技術などを用いた保存と活用の両立を実践している。大阪万博の中国パビリオンで展示された高精細レプリカの製作と展示を監修した。

